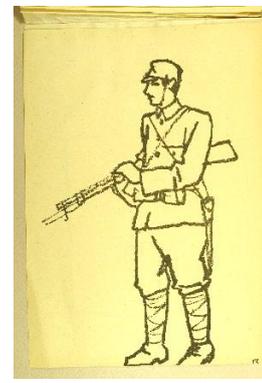
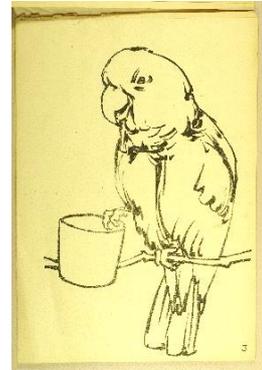
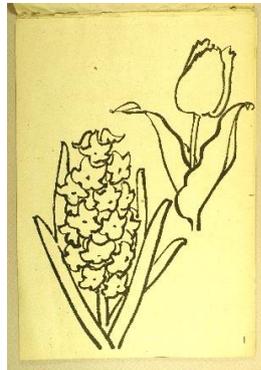
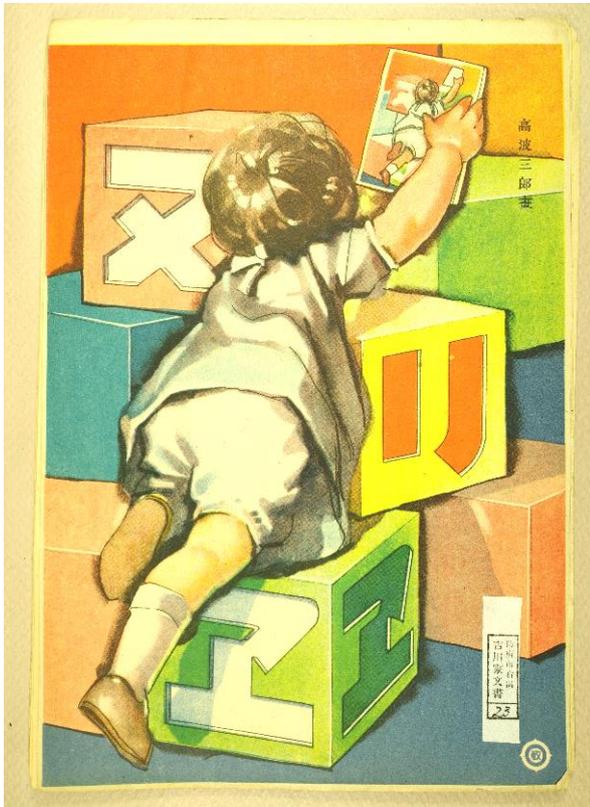
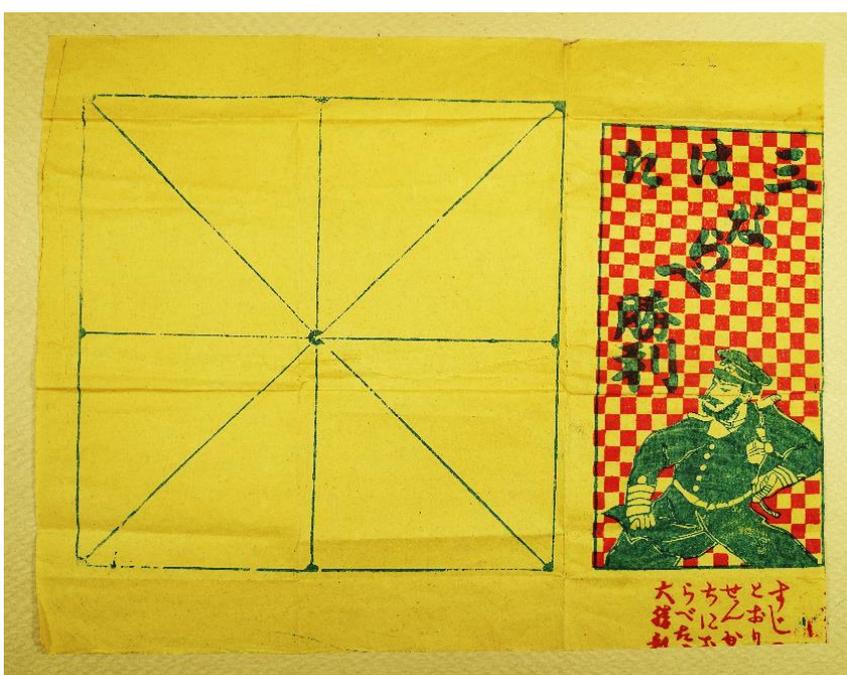


2. 「ぬり絵」 (吉川家文書 23)

昭和 18 (1943) 年 7 月に日本教育玩具製造株式会社が発売した「ぬり絵」です。カラフルな表紙が印象的です。ぬり絵の題材にはチューリップ、インコ、郵便ポスト、お手伝いの様子など様々ですが、戦時中という時代を反映し、兵士の絵もあります。



3. 旗ならべ (堀江静子家文書 314「ゲーム盤」)



おなじみの縦横斜めに○×を先に3つ揃えた方が勝ちとなる3目ならべです。「三はた・三ならべ・勝利」と題が付けられています。

下部に、「すじ□(の)とおりせんかちにならべた□(ら)大勝利」(筋の通り先勝ちに並べたら大勝利)とあり、○と×の代わりに、旗を置くようになっています。もともとは旗が付属していたのでしょうか。あるいは基石を使って並べたのかもしれませんが。

作成年代は書かれていませんが、表紙には明治期の軍人を思わせる絵が使われています。また、「旗を置く」からは、戦いの場での制圧・占領を連想させ、明治期の戦争のイメージが背景にあるのかもしれませんが